

2019 年度 愛知学泉大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
2302110	博物館概論 General Study of Museum	木田 歩	専門	2	選択	2年 前期
<b>科目の概要</b>						
図書館や公民館等と同様に社会教育施設として位置づけられている博物館について、講義や施設見学、グループワークへの参加を通して、博物館に関する基礎的知識(博物館の定義や目的、博物館の機能や種類、博物館の歴史と現状、学芸員の役割等)を理解し、専門性の基礎となる能力を身に付ける。						
<b>学修内容</b>			<b>到達目標</b>			
①博物館関係法令にもとづいた博物館の位置づけについて理解する。 ②博物館の具体的な事業について知る。 ③グループで地域の博物館を調べ、博物館の現状について考察する。			①博物館の目的や定義等を説明することができる。 ②博物館の機能や学芸員の役割等を述べるができる。 ③地域の博物館の現状について、協力しながら示すことができる。			
<b>学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素</b>		<b>学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例</b>				
前に踏み出す力	主体性	講義だけでなく、施設見学やグループワークを通じて、これからの社会教育活動を担う上での課題を自ら見つけ、取り組むことができる。				
	働きかけ力					
	実行力	資格取得の目標を明確にししながら、提示された課題を最後までやり切ることができる。				
考え抜く力	課題発見力	施設見学を通じて、事実をもとに情報を整理し、課題を見極めることができる。				
	計画力					
	創造力	グループワークにおいて、地域の博物館の特性を見出し、その価値を提示することができる。				
チームで働く力	発信力	課題レポートやグループ発表にて、整理した内容を具体的かつ的確に伝えることができる。				
	傾聴力	グループワークで、メンバーの意見を確認し、その意図を受け入れる姿勢を持つことができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	施設見学やグループワークにおいて、自分の都合を優先することなく、集団のルールを守ることができる。				
	ストレスコントロール力					
<b>テキスト及び参考文献</b>						
テキスト:使用しない。 参考文献:必要に応じて、講義内で紹介する。 入館料:施設見学の際に必要な場合あり。						
<b>他科目との関連、資格との関連</b>						
関連する資格:博物館学芸員、社会教育主事						
<b>学修上の助言</b>			<b>受講生とのルール</b>			
社会教育として位置づけられている博物館にとって、博物館法はとても大切なルールです。文化庁 Web サイト内「博物館の振興」のページから、「博物館関係法令」を閲覧しておいてください。			・当日欠席により課題提出が遅れる場合は、事前に受け付けます。 ・学外での施設見学授業を開講するため、欠席・遅刻・途中退出の理由が事前にある場合は、報告してください。			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	10	①	✓	・「博物館関連法令」をもとに、博物館に関する基礎的知識の理解度を確認するための小テストを1回実施する。
		②	✓	
		③		
レポート	50	①	✓	・社会教育施設見学に関する課題レポート(25点)。各施設の具体的な事業内容を的確に整理し、さらに受講生自身の見識が記述されていることを評価する。 ・科目全体に関する最終課題レポート(25点)。科目全体を総合的に捉え、それに対する受講生自らの問題意識がまとめられていることを評価する。
		②	✓	
		③	✓	
成果発表 (口頭・実技)	20	①		・地域の博物館の事業内容や現状について、グループワークにて協力しながら情報や意見をまとめ、成果発表を行う。特に、発表への工夫とともに、協働作業のプロセスや可能性を認識することにも重点を置く。
		②	✓	
		③	✓	
作品				
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	・受講態度(欠席、遅刻、学修意欲欠如)が見られる場合は、欠席は2点、遅刻・学修意欲欠如は1点を減点とする。 (主体性) ・問題意識を持って授業に参画することができるように、コメント用紙等記述する機会を設ける。 (実行力) ・資格取得という目標を立てた上で、レポートや成果発表等の各課題に取り組むことができる。 (課題発見力) ・施設見学を通じて、現在の社会教育活動における課題を見出すことができる。 (創造力) ・グループワークにおいて、地域の博物館に関して多角的な視点で価値を見出すことができる。 (発信力) ・レポートやグループ発表にて、情報を的確にまとめ、わかりやすく示すことができる。 (傾聴力) ・グループワークを、協調性をもって実施することができる。 (規律性) ・学外での施設見学やグループワークにて、支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進むようにルールを守ることができる。
		②	✓	
		③	✓	
その他	10	①	✓	・2/3以上の授業に出席し、レポート提出・成果発表を行った学生のみ評価の対象とする。ただし、授業の出席は前提条件のため、出席点は加味しない。
		②	✓	
		③	✓	
総合評価割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)の基準
最終課題レポートにおいて、歴史的経緯を踏まえて、博物館の社会的目的や役割、さらに現代的課題について、説明することができることをA(優)の目安とする。 これらに加えて、自分自身の目標と関連づけながら今後の課題を示すことができることをS(秀)の目安とする。	最終課題レポートにおいて、博物館の社会的目的や役割、基本的な事業活動について、説明することができる。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	シラバス等をもとに、資格科目としての概要を理解する。	講義。質問表を利用し、資格取得の意思を確認する。	取得希望資格と本科目との関連性を理解することができる。	(予習)次週にむけて文部科学省の博物館関連サイトを調べ、疑問点をまとめておく。	60	主体性
2週 /	博物館関係法令を参考に、博物館の位置づけについて理解する。	文部科学省や文化庁の Web サイトを閲覧しながら講義する。	博物館の目的や定義を理解することができる。	(予習)次週にむけて見学施設に関する情報を調べておく。	60	主体性
3週 /	社会教育施設見学の準備を行う。	前週のフィードバック後、パソコンを利用し、施設情報を収集する。レポート課題出題。	見学施設の概要を理解することができる。	(復習)博物館法にもとづきながら、見学先の具体的な活動情報を確認しておく。	60	主体性
4週 /	社会教育施設の見学を通して、具体的な事業内容を知る(社会教育施設見学①-1) *週末開講予定(1施設 2 限分にて開講)。入館料が必要な場合あり。	見学授業(可能であれば、学芸員等施設運営者に話を聴く。)	施設の具体的な事業内容を経験的に知ることができる。	(復習)レポート作成に活用するため、見学内容をまとめておく。	60	課題発見力 規律性
5週 /	社会教育施設の見学を通して、具体的な事業内容を知る(社会教育施設見学①-2) *週末開講予定(1施設 2 限分にて開講)。入館料が必要な場合あり。	見学授業(可能であれば、学芸員等施設運営者に話を聴く。)	施設の具体的な事業内容を経験的に知ることができる。	(復習)レポート作成に活用するため、見学内容をまとめておく。	60	課題発見力 規律性
6週 /	社会教育施設の見学を通して、具体的な事業内容を知る(社会教育施設見学②-1) *週末開講予定(1施設 2 限分にて開講)。入館料が必要な場合あり。	見学授業(可能であれば、学芸員等施設運営者に話を聴く。)	施設の具体的な事業内容を経験的に知ることができる。	(復習)レポート作成に活用するため、見学内容をまとめておく。	60	課題発見力 規律性
7週 /	社会教育施設の見学を通して、具体的な事業内容を知る(社会教育施設見学②-2) *週末開講予定(1施設 2 限分にて開講)。入館料が必要な場合あり。	見学授業(可能であれば、学芸員等施設運営者に話を聴く。) レポート作成	施設の具体的な事業内容を経験的に知り、その内容を課題をもとに記述することができる。	(復習)見学内容と課題を照合させながら、レポートを作成する。	360	課題発見力 規律性 実行力 発信力
8週 /	博物館事業(収集、保管、展示、調査等)と博物館の種類(館種、設置者別等)について学ぶ。	レポートをフィードバックしながら、講義する。	見学経験をもとに、博物館の事業や機能を理解することができる。	(予習)見学内容を振り返り、施設運営上の疑問点をまとめておく。	60	主体性

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	博物館の歴史と現代的課題について学ぶ。	海外の博物館のドキュメンタリーを視聴する。	歴史にもとづく先進的な博物館活動の事例を知ることができる。	(復習)海外の事例と比較しながら、博物館の運営上の課題を整理しておく。	60	主体性
10週 /	博物館における学芸員の役割と施設のあり方について学ぶ。ここまでの授業内容を確認する。	ドキュメンタリーを振り返りながら、学芸員の活動を紹介する。国内の博物館施設を数館紹介する。これまでの授業の総括として小テストを実施し、理解度を確認する。	学芸員の役割や、国内の先駆的な博物館施設のあり方を知ることができる。	(予習)次週からのグループワークに備え、身近な博物館を調べておく。	60	主体性 実行力
11週 /	グループで地域の博物館を調べ、博物館の現状について考察する①	グループワーク課題提示 グループでの意見交換	メンバーに向けて、身近な博物館を紹介することができる。	(予習)候補となった各博物館について、活動内容を確認しておく。	120	創造力 傾聴力 規律性
12週 /	グループで地域の博物館を調べ、博物館の現状について考察する②	グループでの調査 グループ討議	討議した上で、関心を寄せた博物館を選ぶことができる。	(予習)選んだ博物館について、詳細な情報を収集しておく。	120	創造力 傾聴力 規律性
13週 /	グループで地域の博物館を調べ、博物館の現状について考察する③	グループ討議、発表準備作業	メンバーで協力しながら、パワーポイント等を利用し、発表内容をまとめることができる。	(予習)次週の発表のため、準備をおこなう。	240	創造力 傾聴力 規律性
14週 /	グループで地域の博物館を調べ、博物館の現状について考察する④	グループ発表	地域の博物館について、協力しながら発表することができる。	(復習)他のグループの発表の感想をまとめておく。	60	実行力 発信力 傾聴力 規律性
15週 /	これまでの授業を振り返りながら、科目全体のまとめを行う。	最終レポートの課題解説の上、グループ発表と全講義を振り返る。	博物館の基礎的知識を記すことができる。	(復習)課題内容と照合しながら、レポートを作成する。	360	主体性 実行力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性  
ストレスコントロール力